

防犯活動事業



9/27(土)、10/25(土)、
11/17(月)、11/18(火)、
11/19(水)、11/25(火)、
12/16(火)、12/22(月)、
12/24(水)

PTAと協働してパトロール
を実施しました。

※12/22・24は紙面作成時では予定

見守りパトロール・防犯講座実施 担当役員：千坂順二

防犯講座「110番通報要領 使い分け」
犯人の特徴などのつかみ方や、緊急通報の模擬体験、
また警察に相談する際は警察相談専用電話「#911」
にかけると、貴重なお話を聞きました。



長友巡査部長



古川警部補

ふれあい事業

11/29(土)調布ヶ丘わくわく広場 担当運営委員：西野和子



たくさんの方にご来場いただき、
今年度もにぎやかに開催されま
した。
地域の輪がつながって広がる
イベントです。
参加されたことがない方は、
来年ぜひ足をお運びください。



環境美化事業

月1回の花壇管理作業・美化委員の子ども達との花壇づくり 担当役員：梶井領子・松村朋子



〈花壇管理・清掃〉
10/19(日)・11/2(日)
11/16(日)・12/7(日)

〈花壇花植え〉
11/6(木)美化委員と実施



古武術歩行&まち歩き

担当役員：梶井領子



2026年3月1日(日)

9:00 八雲台小学校体育館集合

参加費：大人500円 小学生無料

※詳細は地区協掲示板または
市報ちようふ2月20日号をご覧ください。

申込・問合せ 080-2242-9749(梶井)

KIKKAKEカフェに
副会長(千坂順二)が参加しました
調布市政施行70周年記念事業と
して開催され、中学生~80代で
調布のことをみんなで話しました。
第八中学校生の感想には会場が感動
に包まれました。
企画・運営して下さった協働推進課
さんの調布愛を感じました!!



八雲台小学校地区協議会



つながる誌

発行：八雲台小学校地区協議会 会長：添田光威
yagumochikukyo@docomo.ne.jp

2025

12

VOL.13

7年ぶりに地区協主催の防災訓練を「やさしい防災フェス2025」と題して
開催しました。八雲台小学区で想定される災害による被害は、地震や富士
山噴火などによる大規模停電、住宅火災の延焼、多摩川や野川の氾濫など
多数あります。他人事ではなく自分事として、子ども達やお隣り・ご近所
さんの、命と心をみんなで守るための活動を、地区協は続けていきます。

やさしい防災フェス 2025

担当：担当役員 西村咲枝



スタンプラリーを集めて景品
のアルファ米や防災グッズ、
お菓子と交換しました。



02ハンディキャップ体験



車いす体験と、特殊なメガネで
視覚を遮断して歩く体験をし
ました。

担当：調布市社会福祉協議会



01防災グッズづくり



新聞紙で災害時に必要なスリッパや、
お皿をつくりました。

担当：まごじばーズと
七中ボランティアの生徒さん

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。
地区協メンバーや地域の皆さんの活動や声をお届けするたびに、人と人とのつながりの
大切さを感じます。この広報誌「つながる誌」が、皆さんのちょっとした会話のきっかけや、
地域活動のきっかけになれば嬉しいです。次回から広報補佐運営委員として江端早奈江さんが
加わってくださいます。2人でこれからも親しみやすい紙面づくりを心がけてまいります。
紙面作成：広報担当役員 千坂真衣

03 ボッチャ体験

ボッチャは能登半島地震でも仮設住宅のコミュニティ形成やストレス軽減など、復興支援活動として広く活用されています。
担当：BOCCIA BASE TOKYO



04 避難所体験



アルミシートをかけて寝たり、避難所トイレを組み立てて座ってみました。訓練することで、使い慣れて、いざというときに住民が適切なルールのもと使用し、衛生環境の悪化を防ぎます。担当：総合防災安全課

05 手話であいさつ



避難所に耳の聞えない人がいたら、まずは手話であいさつをして、ストレスのかかる環境をおたがいに緩和しましょう。
あいさつは誰の心も温めます。
担当：調布市聴覚障害者協会

06 AED体験



AEDを使って応急救護の体験をすることで、いざというときに緊張せず使えるようになります。
担当：国領消防署

07 119に電話してみよう



デモ用の専門装置を使ってシミュレーションして、実際に救急車を呼ばなければいけないとき、落ち着いて伝える訓練をしました。
担当：国領消防署

08 ツリーづくり



こんな避難所にしたい！という想いを葉っぱの形の紙に書いて貼り、大きなツリーを作りました。インクルーシブで愛ある避難所をみんなで作りましょう。
担当：わかあゆ学級卒業生



国領消防車・第五第六分団の消防車が来てくれました。子どもサイズの防火服を着て乗車体験をしました。

09 消火器を使ってみよう



水を入れた消火器を使って、万が一の時、抵抗なく消火器を使えるように訓練しました。
担当：国領消防署

10 煙の中を歩いてみよう



プールの更衣室を安全な煙で満たし、本物の現場に見立てて進みます。まったく先が見えず、臨場感あふれる訓練でした。
担当：国領消防署

11 放水体験



プールの水を使って大きな放物線を放って放水！「こんな放水訓練はじめて！！」と、参加者さんから歓声が上がっていました。

担当：第五・第六消防団

炊き出し訓練



八雲台小第二期卒業生の竹内さんが火起こしからしてくださいました。以前から校庭での炊き出し訓練を実施されたかったそうで、この日はアルファ米と豚汁を作り、リアル避難所生活を想像することができました。
担当：まごじば

景品・アルファ米・豚汁をお渡ししました



スタンプラリーを終えた参加者さんには
◎防災手ぬぐい
◎アルファ米（わかめ）
◎豚汁
◎お菓子
をお渡ししました。
担当：地区協・まごじば



吉沢副校長先生と用務主事の勝田さんも来てくださいました。勝田さんは4月の防災教育の日にも毎年八雲台小担当でご尽力いただいています。



国領消防署の佐藤中隊長から総括いただき、無事に「やさしい防災フェス」を終えました。

来年も開催しますので、自分事として、地域の皆さま、どうぞご参加くださいますよう、地区協一同心よりお待ちしております。

準備と片付け、受付のボランティアをして下さった皆様、ありがとうございました。